

R h D 血液型 結果報告

静岡県立こども病院

松島 江理

配布資料

R h D 血液型

試料 4 1

D 陰性

試料 4 2

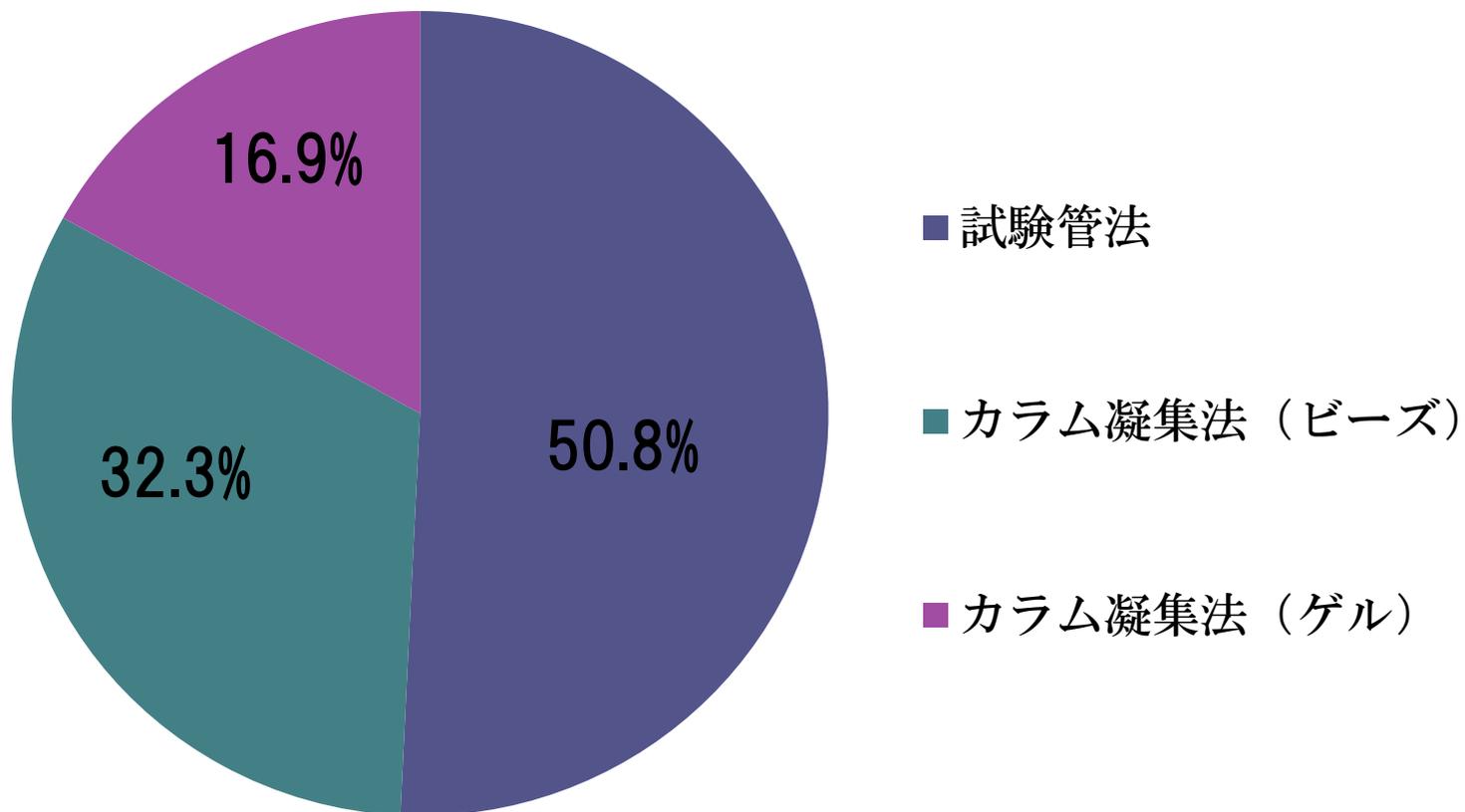
D 陽性

検査方法

施設数 (%)

試験管法	33	(50.8%)
カラム凝集法 (ビーズ)	21	(32.3%)
カラム凝集法 (ゲル)	11	(16.9%)
合計	65	(100.0%)

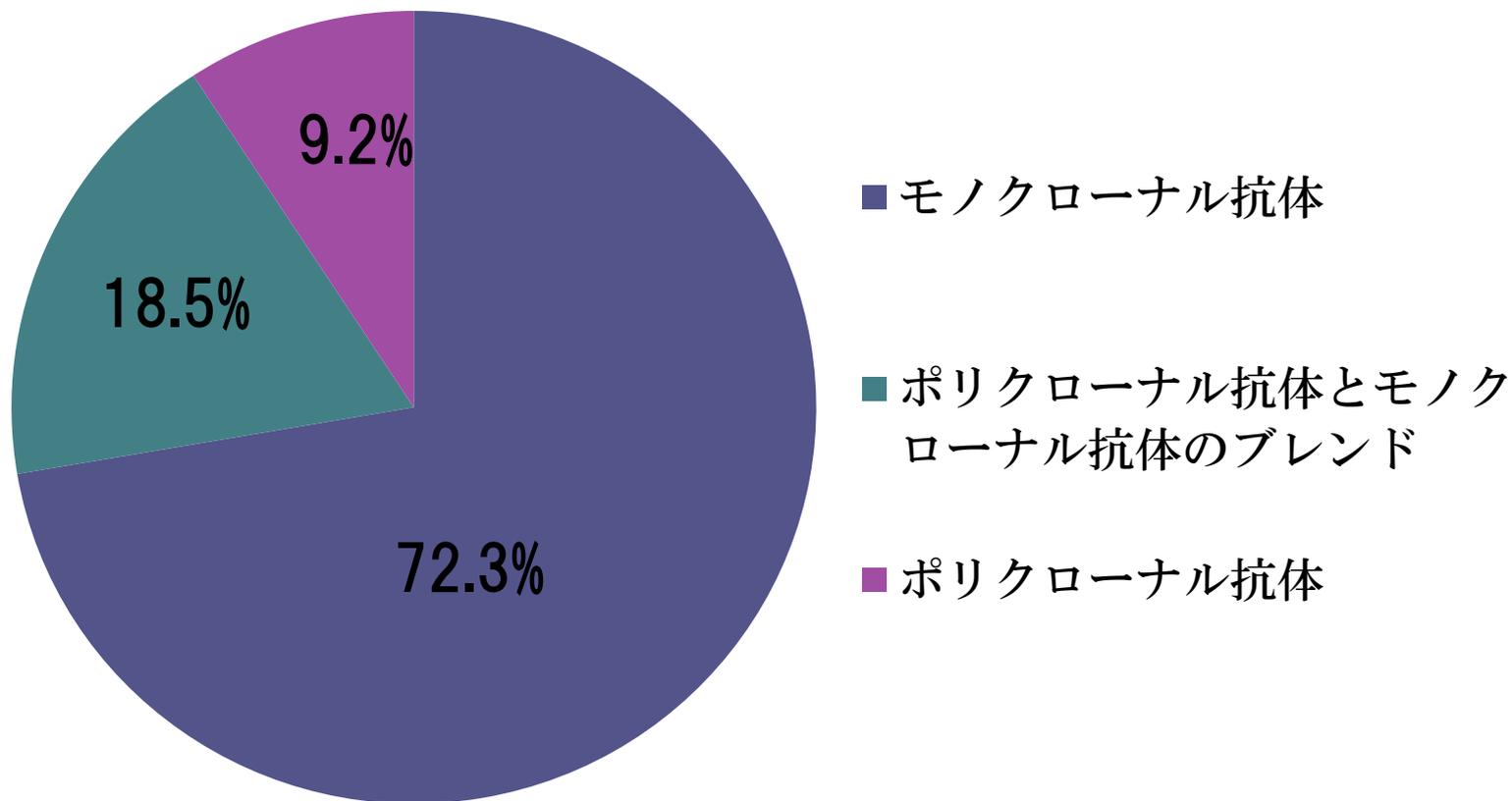
検査方法



抗D試薬

	施設数 (%)	
モノクローナル抗体	47	(72.3%)
ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体のブレンド	12	(18.5%)
ポリクローナル抗体	6	(9.2%)
合計	65	(100.0%)

抗D試薬



回答状況

試料 4 1

判定結果	施設数 (%)	
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験陰性)	55	(84.6%)
D陰性の疑い (Rhコントロール実施・D陰性確認試験未実施)	4	(6.2%)
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験未実施)	2	(3.1%)
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験において 抗D試薬・Rhコントロールとの反応3+)	1	(1.5%)
D陰性の疑い (Rhコントロール実施・D陰性確認試験陰性)	1	(1.5%)
D陰性 (Rhコントロール未実施・D陰性確認試験陰性)	1	(1.5%)
D陰性の疑い (Rhコントロール未実施・D陰性確認試験未実施)	1	(1.5%)
合計	65	(100.0%)

試料 4 2

判定結果	施設数 (%)	
D陽性 (Rhコントロール実施)	62	(95.4%)
D陽性 (Rhコントロール未実施)	3	(4.6%)
合計	65	(100.0%)

まとめ①

- ◆ 抗D試薬と同時にRhコントロールを用いて検査を実施する
- ◆ コントロール（陰性対照試薬）は使用する抗D試薬の添付文書で指定されたものを用いる

まとめ②

- ◆ 抗D試薬の直後判定が陰性の場合には判定保留とし、引き続きD陰性確認試験を行う
- ◆ ただし、D陰性確認試験は必須ではなく、この患者はD陰性と同様に取り扱い、輸血にはD陰性の輸血用血液製剤を用いる
- ◆ D陰性確認試験において抗D試薬の判定が陰性の場合にはD陰性と判定する